

# 銀杏 《 愛校 自主自律 》

南陽市立宮内中学校 学校だより

<http://miyatyu.sakura.ne.jp/>

## クラスをまとめる2学期学級会長・副会長の任命を行いました！

8月24日(火)、2学期の学級委員の任命を行いました。今回は、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、本校で初めての“オンライン朝会”での任命となりました。

任命証授与の様子を撮影し、それぞれの教室のテレビに生配信しました。いつもと違う雰囲気にも、私も代表生徒の皆さんもいつも以上の緊張感を味わいました。



クラス	学級会長	学級副会長
1年1組	城坂 宏樹くん	鈴木 愛珠さん
1年2組	小笠原 陸くん	石黒 杏さん
1年3組	尾形 輝喜くん	滝澤こころさん
2年1組	鈴木 蛍助くん	梅津 若奏さん
2年2組	横山 祥汰くん	漆山 璃世さん
2年3組	田中 葵さん	鈴木 峻平くん
3年1組	色摩 修平くん	高橋 愛梨さん
3年2組	上浦 英樹くん	山口 芽依さん
3年3組	近藤 優輝くん	吉田 茜さん
わかば	大橋緋奈乃さん	
あおぞら	金田 悠真くん	

“心身ともに大きく成長できる2学期”の手綱をとる学級会長・副会長の皆さんのリーダーシップと、フォロワーとなる仲間の大いなる活躍に期待しています。



## 全校道徳「夢を実現するには・・・」で熱く語っていただきました！！

本校で大事にしている教育実践の1つである「全校道徳」を、8月30日(月)に行いました。今回は、「夢を実現するには」と題し、アテネ五輪、北京五輪に出場された南陽市のオリンピックである池田めぐみさんから、大変熱いご講話をいただきました。

池田さんには、夢を叶えるためには、「失敗すること」。その上で、「失敗したことから逃げない。なかったことにしない」という生き方を大事にする。そして「やりたいことが見つかったときに、それを支えてくれる仲間を大切にすること」を教えてくださいました。ご講話ではお話しされませんでしたでしたが、“どん底”の池田さんを支えてくれたのは、本校の卒業生で皆さんの先輩だったそうです。さすが、歴代の宮中生！！



「自分で見つけた夢を、自分の意志で叶えようとする」との大切さも教えてくださいました池田めぐみさんに、改めて感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございました。

## 学校行事・新人戦を確実に迎えるために！

全国・県内とも、新型コロナが猛威を振るい、感染対策の徹底が求められています。そのような中、過日、本校生徒会の保体委員会より、「体育祭を行うためには、宮中生のコロナ対策が重要です！」という強いメッセージと具体策が記載されたプリントが発行されました。

“心身ともに大きく成長できる2学期”に不可欠な学校行事や先輩から部活の伝統や歴史を学ぶ部活動を私もやりたいと思いますし、やらせたいとも考えています。そのために、宮中生自らが考え、メッセージを発信し、それを具現化しようと主体的に取り組む本気の心意気に、とても熱いものを感じています。県内でも、9月12日まで『感染拡大防止 特別集中期間』となっています。この事態を乗り越えるためにも、学校でできることを創造・模索してまいります。

## 地区中学校英語弁論大会でも大活躍！

8月24日（火）に、米沢市の置賜総合文化センターを会場に、地区中学校英語弁論大会が開催されました。本校から、スピーチの部に3年紺野日芽梨さん、レシテーション（暗唱）の部に、3年菊地愛叶さん、2年佐々木優輔君がそれぞれ出場し、夏休み前から準備・練習に励んできた成果を発揮してくれました。大会終了後、3人が報告のため職員室を訪れた際、「楽しんで発表することができました！」と達成感に満ち溢れた笑顔で話してくれた姿がとても輝いていました。見事、スピーチの部で優勝した紺野さんは、9月下旬に行われる県大会へと駒を進めました。更なる活躍をみんなで見たいと思います。

### ○ スピーチの部：第1位

3年 紺野日芽梨（県大会出場）

「Enjoy Being Different」

### ○ レシテーションの部：第3位

3年 菊地愛叶

「Miss Evans on the Titanic」



### 【校長の独り言…】

先日、次のような記事を目にしました。  
悪天候に悩まされている全国高校野球選手権大会。  
17日にあつた第1試合は、大阪桐蔭が東海大菅生に7-4で、  
8回表途中降雨「トルド勝ちした。山口智久球審 49」は試合終了の際、両主将を本塁後方に呼び、「この状態の中で、いい試合をしてくれてありがと」とねぎらった。


8回表、3点を追う東海大菅生が1死一、二塁としたところで、山口球審は中断を決意した。雨でグラウンドがぬかるみゴロが止まって内野安打になった。ファウルを打った打者のバットがすっぽ抜けるシーンもあった。選手がけがをしてはいけない。これ以上は続けられない。32分間の中断の末、グラウンドに再び出た山口球審は、両校の主将を呼んだ。申し訳ないけど、グラウンド状態が悪いので、「ここで試合を終了させてもらいます」と伝え、後輩たちがまたここで対戦できるように頑張ってくださいと思えます」と話しかけた。2人の主将があいさつし、ベンチに戻ったのを見届け、右手をあげて「アーム」と告げた。そのまま一礼し、回れ右をしてグラウンドにも頭を下げた。試合終了のあいさつができなかった選手の方も、自分が代表しました。最後まで試合をさせられなかったおわびと、選手たちは頑張りました。ありがとございませう」といってお礼の気持ちも込めました。「もう早く試合を止めなければいけないか。自責の念は消えないという。『ブレーボールをかけた以上、最後まで試合を続ける努力をしなければならぬ』。高校生の最後の試合を途中で終わらせたくない」。そんな葛藤を抱えていた。（中略）（編集委員・安藤嘉浩）

【朝日新聞デジタルより一部引用】

この記事のタイトルとして、「降雨コールド告げた球審、今も葛藤 大阪桐蔭×東海大菅生」と記されていました。皆さんは、この記事から、どんなことを考えたり感じたりしたでしょうか…。



## 9月の主な予定

- 1日（水）：避難訓練 
  - ：チャレンジテスト
- 3日（金）：体育祭結団式
- 7日（火）：創立記念式（朝会）
  - ※9日：創立記念日
- 16日（木）：前期期末テスト
- 22日（水）：地区新人大会壮行式
- 25日（土）～26日（日）
  - ：地区新人大会
- 27日（月）：振替休業日（25日分）
  - ※26日分の振替休業日は、10月5日となります。